国道121号 湯野上バイパス

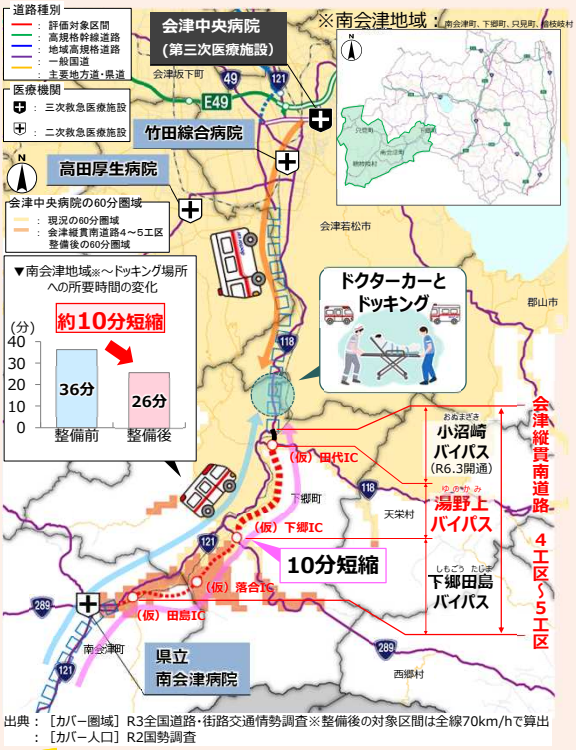
整備効果

バイパス整備により期待される効果

効果① 救命率の向上に寄与します！

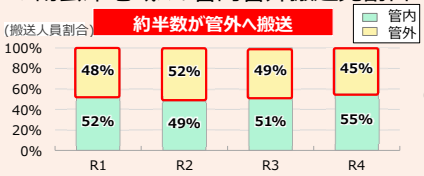
◆ 南会津地域※は第三次医療施設がなく、病院・診療所が少ないため、管外への救急搬送割合が高い状況です。
◆ そのため、救急搬送途中で車内で手術等が行えるドクターカーとドッキングし治療しながら搬送するケースもあります。
◆ 会津縦貫南道路の整備により、救急搬送・転院搬送時間やドクターカーとのドッキング時間が短縮し、救命率の向上に寄与します。

▼第三次医療施設（会津中央病院）６０分圏域の変化



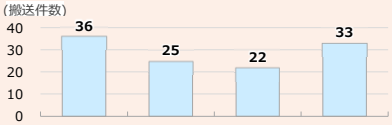
出典：［カバー圏域］R3全国道路・街路交通情勢調査※整備後の対象区間は全線70km/hで算出
：［カバー人口］R2国勢調査

▼南会津地域※の管内管外搬送先割合



出典：R5.8 南会津広域消防本部ヒアリング結果

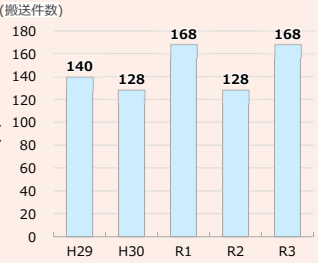
▼南会津地域※のドクターカー利用搬送数



出典：R5.8 南会津広域消防本部ヒアリング結果

▼南会津町からの転院搬送の推移

緊急性の高い転院搬送が
２～３日に１回の頻度で発生



出典：南会津地方広域市町村圏組合消防本部［消防年報］



《地域の救急救命活動従事者の声》
・脳・循環器系の場合は会津若松市内へ搬送するしかなく、**ほぼすべての管外搬送において国道121号を利用**しています。
・国道121号は**大型車と救急車のすれ違いが難しい区間**もあります。また、災害等で**国道121号が通れない場合に大幅な迂回**を強いられます。
・**搬送時間やドクターカーとのドッキングが短くなれば救命率の向上に繋がります。**また、緊急性の高い**転院搬送においても非常に役立ちます。**

出典：R5南会津広域消防本部ヒアリング結果



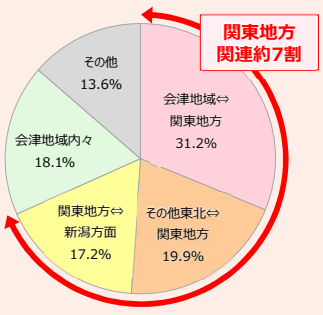
《地域の第三次医療施設の声》
・医師と患者を**救急搬送の途中でドクターカーでドッキングする会津地域独自の対応**を取っています。
・**ドクターヘリは天候や時間帯による出動条件が厳しい**ため、ドクターカーが重要です。
・喜多方市方面は、会津縦貫北道路によりかなり近くなった印象であり、会津縦貫南道路についても、早期に開通により、**搬送時間短縮に期待**しています。

出典： R5会津中央病院ヒアリング結果

効果② 物流経路としての信頼性を確保します！

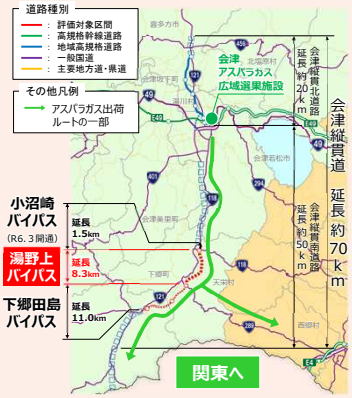
◆ 会津縦貫南道路並行区間は関東地方関連の貨物車利用割合が高く、広域物流やアスパラガスの関東方面への出荷を担っています。
◆ しかし、当該区間は事前通行規制区間が存在し、落石も発生するなど通行規制のリスクがあり、幅員狭小区間、線形不良箇所などの走行支障箇所が存在し、通常期でも大型車はすれ違いも難しく、冬期はより一層困難となっています。
◆ 会津縦貫南道路の整備により、通行規制のリスクが低減し、信頼性の高い物流路線を確保します。

▼国道121号の貨物車の利用状況



※「その他東北」は、会津地域を除く東北地方全域を指す
出典：ETC2.0データ（R4.10）大型車

▼アスパラガスの出荷ルート



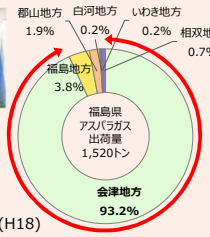
▼東京卸売市場における
アスパラガスの全国シェア

	産地	シェア
1位	栃木	22.9%
2位	佐賀	20.9%
3位	長崎	14.5%
4位	山形	6.1%
5位	秋田	6.0%
6位	福岡	5.8%
7位	北海道	5.4%
8位	福島	5.3%
9位	熊本	2.9%
10位	茨城	2.8%
	その他	7.4%

出典：東京都中央卸売市場統計（年報）R4

会津地方はアスパラガスの一大産地
（県内シェア９割）





出典：農林水産省
作物統計調査(H18)

▼現道(湯野上バイパス並行区間)の線形不良箇所と落石発生箇所

▼大型車同士のすれ違い状況
（国道121号:下郷町内）



大型車同士がすれ違うのに十分な幅員が確保されておらず、**冬期は堆雪により一層すれ違いが難しい状況**

凡例		
現道状況	R＜100m	○
	I＞5%	▭
落石発生箇所（H22～R4）		▲

▼現道の落石発生状況



国土交通省 東北地方整備局 郡山国道事務所